

●**予防接種事業**

来月から、新型コロナウイルス、高齢者肺炎球菌、小児インフルエンザの予防接種事業を開始します。

新型コロナウイルスワクチンは、来年3月まで、65歳以上の高齢者などを対象に定期接種を実施し、自己負担額の半額を助成します(3面参照)。

肺炎球菌ワクチンは、平成26年に定期接種化され、65歳の高齢者などを対象に実施しています。65歳で接種しなかった方に対する経過措置は3月に終了しましたが、今年度に限り、66歳以上で接種履歴のない方を対象に接種を実施します。

小児インフルエンザワクチンは、任意接種で全額自己負担となっています。2回接種が推奨されており、子育て世帯の負担を軽減するため、生後6カ月から12歳までの方を対象に一部を助成します。

なお、補正予算案に各予防接種の実施に要する経費を計上しています。

●**マイナ保険証への移行に伴う対応**

12月2日に現行の健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードの保険証を基本とする仕組みに移行します。現行の健康保険証は、有効期限まで引き続き使用できます。後期高齢者医療制度加入者及び国民健康保険加入者全員に制度改正の案内を送付するとともに、コールセンターを設置して丁寧に対応していきます。

**防災、環境施策**

●**耐震化の促進**

先月8日、宮城県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。気象庁は南海トラフ地震臨時情報を初めて発表し、巨大地震への注意を呼びかけました。

練馬区は臨時情報の対象地域ではないものの、首都直下地震は何時起きてもおかしくないと言われています。家具類の転倒防止、水や食料、携帯トイレの備蓄など、区民の皆様には備えを再確認して頂きたいと思えます。

区はこれまで、ハードとソフトの両面から攻めの防災を進めてきましたが、能登半島地震を受け、更に強化、加速しています。

住宅耐震化の第一歩となる簡易耐震診断の実施件数は、昨年度実績の3倍を超える見込みです。耐震改修工事等につなげるため、個別勧奨などに取り組み、昨年度工事実績を大幅に上回る80件を目指します。区民の防災意識が高まっているこの機を逃さず、耐震化を一層促進するため、本定例会で補正予算案を提案しています。

密集事業実施地区では、着実に道路整備を推進

します。桜台東部地区の防災道路1号線は、年度内に現況測量の完了を目指します。

●**地域の初期消火力・出火防止対策の強化**

地域の初期消火力、出火防止対策の強化に取り組んでいます。なかでも密集事業実施地区と防災まちづくり推進地区では、消火用スタンドパイプの区立施設やコンビニなどへの設置を6月から開始し、実戦的な訓練を行っています。

また、両地区内の木造住宅をはじめ、避難行動要支援者の住まいを対象に、来月から、感震ブレーカーの無償貸与、取付け支援を始めます(3面参照)。

●**区立施設への再エネ導入**

再生可能エネルギー電力の導入による脱炭素の取組を加速します。今年度から、区役所練馬庁舎に、実質再エネ100%の電力を導入しました。来年度からの2カ年で、清掃工場の電力を利用して施設と指定管理施設を除く全ての区立施設に導入を拡大します。

●**製品プラスチックのリサイクル**

容器包装プラスチックの回収及び中間処理を担っている事業者と協議を行い、製品プラスチックの回収・資源化の令和8年10月開始を目指して準備を進めています。これに先駆け、現在粗大ごみとして収集している、プラスチック製衣装ケースのリサイクルを来月から実施します。

みどりあふれる循環型都市を目指して、ごみの減量とリサイクルの推進に取り組んでいきます。

**全国都市農業フェスティバル2025**

昨年11月に開催した全国都市農業フェスティバルは、区内外から3万6000人もの方にご来場頂き、大きな成功を収めました。

参加自治体からの「継続して意見交換できる機会が欲しい」という要望に応え、オンラインによる連絡会「都市農業サロン」を立ち上げ、フェスティバル参加都市をはじめとした全国28自治体と、農林水産省、国土交通省の参加を得ることができました。7月に「都市農業のファンづくり」をテーマに意見交換を行い、今年度中に「経営の安定化」「担い手確保」をテーマに更に2回実施して、「全国都市農業フェスティバル2025」につなげていきます。

11月16日・17日には、JA東京あおば農業祭に合わせてプレイベントを開催し、機運を醸成します。「都市農業サロン」参加自治体のうち9都市が出店し、農産物の販売やPRを行います。

引き続き、練馬区が全国の先頭に立って、都市生活に新たな豊かさをもたらす都市農業の魅力と可能性を、全国に発信していきます。

**おわりに**

先月11日、パリ2024オリンピック競技大会が閉幕し、現在パラリンピック競技大会が開催されています。連日、最後まで力を尽くして闘う選手達の姿が、大きな感動を与えてくれました。フェンシングでは、区内のクラブで実力を磨いた3選手が大活躍しました。永野雄大選手と敷根崇裕選手がフルーレ団体で金メダル、見延和靖選手がエペ団体で銀メダルを見事に獲得しました。活躍に胸を熱くしたのは私だけではないと思えます。

昨日、3選手を区役所にお迎えし、この度の功績を称え、区民栄誉賞を授与しました。練馬区民の永野選手から「区内のクラブで腕を磨いてきました。区民の皆さんのサポートに感謝しています」との言葉を頂きました。74万区民を代表して、心からお祝いを申し上げます。

パラリンピックでは、練馬区民の木村敬一選手が水泳の男子50m自由形で金メダル、宮食行次選手が男子ゴールボールで金メダルを見事に獲得しました。今大会には、多くの練馬区ゆかりの選手が出場し、白熱した闘いを見せてくれました。練馬区長として、選手の皆様に心から感謝を申し上げます。

区長に就任して10年が経過しました。この間、憲法第15条第2項で定める「全て公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」という言葉を胸に刻んで仕事をしてきました。目先の人気取りではなく、微力ながら、後世の歴史の審判に堪える政策に取り組んできたつもりです。

区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」の創設、新型コロナワクチン接種の練馬区モデル、東京都練馬児童相談所の設置をはじめ、ねりっこクラブの創設、地域包括支援センターの体制強化、ひとり親家庭自立応援プロジェクトの展開、重度障害者グループホームの整備拡大、病床1,000床の大幅増など、練馬区の福祉医療は飛躍的に充実しました。世界都市農業サミットの開催など、都市農業の振興に力を尽くし、大江戸線の延伸、西武新宿線の高架化など、都市インフラの整備も着実に進んでいます。

これまでの取組を継続・発展させながら、みどり、文化、スポーツなど、区民生活をより豊かにする施策に力を入れていきます。全国自治体を先導する政策、「練馬区モデル」を更に拡大・充実することによって、練馬区はもっともっと発展する、そう確信しています。

区議会の皆様、区民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

パリ2024オリンピックでメダルを獲得した  
**永野選手・敷根選手・見延選手に区民栄誉賞**

区では、スポーツや芸術、学術などで、特に顕著な業績を挙げ、広く区民に敬愛され、社会に希望と活力を与え、区の名を高めた方を顕彰しています。今夏開催されたパリ2024オリンピックでメダルを獲得した、区内所在の「NEXUSフェンシングクラブ」所属の3選手に、練馬区初となる区民栄誉賞を授与しました。▶**問合せ**:総務係 ☎5984-2600



▲区ホームページ



**永野雄大**選手(区内在住)  
男子フルーレ団体 **金メダル**



**敷根崇裕**選手  
男子フルーレ団体 **金メダル**



**見延和靖**選手  
男子エペ団体 **銀メダル**



▲9月5日に区役所にお越しいただきました